福島県立須賀川支援学校　地域支援センター



平成３１年３月２０日（水）発行　第３３号

**通 信**

福島県立須賀川支援学校

☎：０２４８－７６－２５１１　fax：０２４８－７２－４７２９

ホームページ https://sukagawa-sh.fcs.ed.jp/

**家庭と教育と関係機関との連携　　　　教頭　　喜多見　久美**

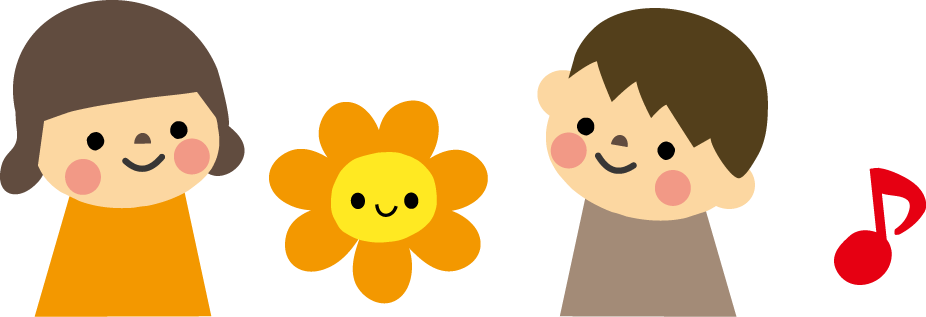
発達障がいをはじめ障がいのある子供達の支援に当たっては、行政分野を超えた切れ目ない連携が不可欠であり、一層の推進が求められています。このたび、文部科学省と厚生労働省による「家庭と教育と福祉の連携『トライアングル』プロジェクト」において、家庭と教育と福祉の一層の連携を推進する方策について取りまとめた報告が、平成３０年３月に出されました。

そのなかでは、「教育と福祉の連携の推進」、「保護者支援」の２つの観点について、課題と今後の方策が示されたところです。特に前者については、個別の教育支援計画が保護者や関係機関との連携の下で作成されるよう、学校教育法施行規則の改正がなされました。すでに各学校において個別の教育支援計画が作成されているところですが、あくまで作成することが目的でなく、その活用を通して、児童生徒の成長を本人・保護者を含めた関係者で共有し、今後の指導、支援に生かすことがより重要視されていると言えます。作成時のみならず、個別の教育支援計画を活用しながら、日常的に学校と保護者、関係機関等が連携を図っていきたいものです。

保護者支援については、地域支援センター「きらり」の相談窓口をさらに周知し、相談・研修支援の

活用を地域の皆様に呼びかけていきたいと思います。今後ともよろしく

お願いいたします。



**地域支援センター「きらり」今年度の活動報告**

　　地域支援センター「きらり」では、出かける支援「６２件」、来校相談支援「８８件」、研修支援「５件」

　を行いました。また、親子で来校、相談できる「きらり親子教室」や市主催の「おひさま教室」への協力等

　を行いました。（注：毎月の延件数の合計数です。前月、次月と同じ方が相談した際、２件と計上します。

　また、出かける支援では、学校等に伺い、相談対象の幼児、児童生徒数の合計数です）

　　特に今年度は、電話による相談や複数回、来校して頂いての相談が多く見られました。また、今年度より

教育支援アドバイザーが設置され、特別な支援を必要とする子ども達の就学前から学校卒業までの「切れ目

のない支援」体制の整備・充実を図れるよう活動してきました。

　次年度も本校教員の専門性の更なる向上を図り、「地域で共に学び、共に生きる教育」を推進するために

各関係機関と連携しながら支援できるよう努めます。

**【相談の一コマ】**

・「授業を参観してほしい。その後、どのような支援が有効なのか相談したい」

・「授業に集中できない、暴言、暴力もある」

・「なかなか登校できない。先が見えないのが不安」

・「いろいろ悩んでいる。話を聞いて欲しい」

・「小学校入学前までにどのようなことをしていけばよいのか？具体的に教えて欲しい」

・「視覚的支援が大切なのは分かるが、具体的にどのようなものがあるのか知りたい」

